5章　総合問題5

問題

【1】

解答

（1）　ここで真に驚くべき点は，20年後には五分五分の確率で宇宙の全体像が解明されるという，20年前のホーキングの予言が実現しなかったということではなく，彼が依然として絶えずその予言を実現しようという気になっていたということである。

（2）　万物の理論とは，宇宙の全粒子の関係とそれに作用する基本的な力を示す数式にすぎないのに，文字通り万物に関する理論と誤解すること。〔63字〕

別解

万物の理論といっても，宇宙にあるあらゆる型の粒子の関係と，それに働く基本的な力とを数式で表したものにすぎないのに，文字通り万物に関する理論であると誤解すること。〔80字〕

解説

下線部ⓐ

全体の構造は

The real surprise here

is ⎧ not　that Hawking's prediction failed to come true,

　 ⎩ but　that he ever felt moved to make it.

○ not A but B「A でなくて B」

○ that は名詞節を導く接続詞。

○ Hawking's prediction の具体的な内容については Hawking's prediction の prediction に着目して，それに関連した表現を探すと，次の２つが見つかる。

Twenty years ago, I said（ℓ. 1）：prediction に準ずる表現

your prediction（ℓ. 3）：prediction そのもの

したがって，この２つの語句にはさまれた次の箇所が Hawking's prediction とわかる。

there is a 50-50 chance that we will have a complete picture of the universe in next 20 years

この英文は，次の４箇所が加筆・補正されている。

（a）〈時制の一致〉で過去になっている was は is に戻してある。

（b）同じく would も will に戻してある。

（c）chance の後にはわかりやすいよう《同格の that》を補ってある。

（d）過去時制のために付いた in the next 20 years の the は削ってある。

したがって，Hawking's prediction とは「20年後には五分五分の確率で宇宙の全体像が解明されることになるというホーキングの予言」とまとめることができる。

○ fail to …「…しない；…できない」

○ come true ＝ really happen or become the case「実現する」
○ ever ＝ at any time「いつでも；常に；絶えず；ますます」 盲点
○ felt moved to make it
○ felt moved to do の形は move A to …（A を…する気にさせる ＝ cause A to …）の受身形の A is moved to do の is のところに felt がきたもの。
○ make「（困難の末に）成功する；成し遂げる」
○ it ＝ Hawking's prediction

下線部ⓑ

下線部中に misconception とあるので，本文の他の箇所に misconception という語そのものあるいはそれに準ずる表現を探すと，次の２つの対立する内容が見つかる。
① Literally Everything「文字通りすべてのこと」（ℓ. 14）
② "merely"a single ～「『単に』１つの～」（ℓ. 16）
したがって，この２つの対立点を浮き彫りにするような形で，①及び②を含む文全体を制限字数内でまとめればよい。

全訳

スティーヴン・ホーキングさんに彼の言葉で秘密を語ってもらおう。「20 年前，次の 20 年の間に宇宙の全体像がつかめる可能性は五分五分だ，と私は言いました。」それで，ホーキング教授，あなたの予言はどうなったのであろうか？ 「その言葉は，今日依然として私の見積もっている所ですが，その 20 年というのは今から始まるのです。」言い換えれば，私たちは少なくとも 20 年前と同じくらい，万物の理論からは程遠い所にいるのである。

不屈の精神で有名なホーキング教授は，事態をそのようには考えていない。「私たちは，この試みでは目覚しい進歩を遂げています。」と，彼は言う。「完全な統一理論という究極の目標達成は，すぐそこまで来ています。」と彼は言う。その言葉は，もう少し励みになるが，そのすべてを彼は次のように付け加えて台無しにする。「ですが，それは私たちにはまったく理解できない場合もあるのです。」ⓐここで真に驚くべき点は，ホーキングの予言が実現しなかったということではなく，彼が依然として絶えず，その予言を実現しようという気になっていたということである。というのも，通りで普通の客に，科学者たちは万物の理論を発見しそうかどうか聞いてみるとよい。そうすれば，その反応は，完全な懐疑の類となることであろう。

確かに，そういった反応の一部は，万物の理論とは何かに関する広く行きわたった誤解から生じている。その名前にもかかわらず，それは明らかに，なぜ地球は回るのかということから，なぜ私たちは恋をするのかということに至るまでの，文字通りの万物の理論ではないのである。万物の理論とは，宇宙にあるあらゆる型の粒子の関係，及びそれに作用する基本的な力をまとめ上げた「単なる」１つの数式にすぎない。その数式の探究は，約 80 年前にアインシュタインが始めた。当時「万物」はたった３つの粒子 —— 電子，陽子，それに光子 —— それに加えて重力及び電磁気という２つの基本的な力からのみ成り立っていた。しかし，アインシュタインは，この２つの力すら結び付けることができなかったのである。

注

ℓ. 2 ◇ chance：名詞の chance には，下記の３つの意味があり，ここでは②。

①「機会，好機」= opportunity; occasion ※《同格の that 節》接続不可。

②「可能性，見込み」= possibility; prospect ※《同格の that 節》接続可。

③「偶然」 *cf.* by *chance* = by accident

ℓ. 3 ◇ pan out = develop in a particular way

ℓ. 4 ◇ the 20 years

○ the が付いているのは，その予言の中で言うところの「20 年」（という言葉）のため。

ℓ. 6 ◇ does not see it that way

○「それをそんなふうには見ていない」の「そんなふうには」，つまり that way とは，直前に書いてある we are at least as far away as we ever were ～ のように「悲観的には」ということ。

ℓ. 8 ◇ just around the corner = very near; likely to happen soon

◇ Which

○この非制限用法の関係代名詞 which の先行詞に相当するのは，直前に書いてある The ultimate goal ～ could be just around the corner という楽観論のこと。

○非制限用法の which は本文のように，独立した文になることがある。

cf. I'll tell you everything I can. *Which* I wouldn't do for anyone else.

（あなたに知っている限りすべてをお話しましょう。そういうことはあなた以外にはしないんですがね。）

ℓ. 9 ◇ just：《just ＋否定語》は ‘ 否定の強調 ’ である。

◇ beyond our grasp

○《beyond ＋能力（の類）》は「（能力）を超えている」というところから「…できない」という意味。

ℓ. 11 ◇ punter = gambler; customer

ℓ. 12 ◇ one of total incredulity

○《one of ～》というのは，文字通りには「～のうちの１つ」ということであるが，そこから転じて「～という類（の物）」といった意味合いで使われることがある。次例を参照。

cf. It is *one of* those problems which you cannot but face anyway.

（それは，君がどのみち直面しなければならない類の問題だ。）

ℓ. 13 ◇ admittedly = as is〔must be〕recognized or agreed ～ ; used when you are admitting that something is true

ℓ. 16 ◇ mathematical expression ＜ express ～ mathematically

ℓ. 17 ◇ act upon ～①「～に作用する〔働きかける〕」 ②「～に基づいて行動する」

ℓ. 20 ◇ marry ～ together = combine ～ together「２つの異物を結び付ける」

cf. The writer tried to *marry* a modern lifestyle with the traditional in his book.

（その作家は，自分の作品の中で現代の生き方と伝統的な生き方とを融合させようとした。）

【2】

解答

ア e　イ g　ウ c　エ h　オ b　カ f

解説

東大では，補充するものが段落か文かの違いはあるものの，長文の中に文章を補充する形式の長文読解問題はこのところ続けて出題されている。この種の問題を解くためには，選択肢の内容と空白の前後の文脈をよく理解し，補充する文が論理的整合性を持ってその文脈に当てはまるかどうか，選択肢を文脈中に置いて慎重に吟味する必要がある。見かけほど易しい問題ではなく，素早くしかも正確に文脈を把握する力が問われている。

今回出題した文章は1986年頃に書かれたものであるが，今日の日米関係にも十分当てはまるところがあるだろう。

【第１段落】

空所の前までの内容を要約すると，「敗戦によって徹底的に打ちのめされた日本は，その後Phoenixのように奇跡的な経済復興を遂げ，envy of the worldになり，アメリカのライバルにまでなったが，物質的な繁栄のstiff price（高価な代償）として，少年非行，離婚…などが増加した。しかし，これは予想され得る事態であった。」となる。これに続く文としては，何らかの意味で，「戦後の日本に生じた」という事態についての言及が必要だろう。そういう観点で選択肢を見ていくと可能性がありそうなのは，**b**，**e**，**f**，**g**である。

まず，**b**を見てみよう。「アメリカはこういうsplit image（分裂したイメージ）には慣れているが日本にとっては初めての経験である」ということだが，空所の前文にある「少年非行，離婚，自殺，あるいはまたアルコール中毒の増加」を「分裂したイメージ」と考えることはできないので不可である。次に，**e**を後にして，**f**，**g**を先に見てみよう。**f**を要約すると，「不死鳥（＝日本）と鷲（＝アメリカ）はすべての人間への公平さ，平和，自由という理念に基づき，諸外国からの尊敬の念を得るべく努力すべきである」ということであるが，日本人がその社会的諸問題から立ち直るには「諸外国からの尊敬の念を得るべく努力すべきである」と仮に考えるとしても，ここでアメリカに言及するのはおかしい。よってこれは不適当。次に，**g**を見ると，Theyが日本人を指すとして「日本人は外国の紛争に関わることを躊躇する」ということだが，国内の諸問題について言っているところで外国の紛争についての内容は合わない。**e**を入れるとthese signs of malaiseが空所の前で述べられた社会的問題を受けることになり，「日本が今挙げたような社会的荒廃の兆しに対して，何らかの手を打とうとしている」といった内容はこの空所**ア**に入れるのに適当であるとわかる。正解は**e**。

【第２段落】

この段落の空所までの文を要約すると，「日本は，経済大国になったが，その価値観や意志を明確にしない性格から諸外国に「エコノミック・アニマル」の国，つまり，仕事中毒者たちの国などといったよくないイメージを持たれている。日本はいまだに「大東亜共栄圏」のイメージを断ち切れずにいる。」となる。そこで，可能性のありそうな選択肢を拾ってみると，**c**，**f**，**g**が候補となる。

まず，**c**を見ると，「世界中の保護貿易主義者の反発によって日本は痛手を被ることになるだろうが，それは日本にとって輸出は死活の問題だからである」という内容だが，空所の

前に「こういう状態（諸外国に対する姿勢）を続けていると」というような内容があればまだ考えようがあるが，それもなくここで急に「貿易」の話が出てくるのは唐突である。よってこれは不適当。次に，**f** を見ると，アメリカについての言及があるが，ここはあくまで「日本」という国の閉鎖性とでも言うべき国柄について述べている段落であるから，不可である。**g** を見てみると，これは「日本人は諸外国が抱えている紛争に関わること，精神，勇気，関心を示すことを躊躇する」といった内容で，諸外国からよくないイメージを抱かれる日本人の性格を述べたこの段落の流れに合う。よって正解は **g**。

【第３段落】

空所の前までは，第２段落を受けて，諸外国は日本人並びに日本企業が行っている経済活動に疑いの目を持っていることを述べ，日本が国内外の問題に無関心であるのではないかと冷たい目で見ていることを述べている。そして日本人はそのイメージを改善する努力を怠ればどのような結果を招くかをよく知っているはずだと警告している。空所の後にも「すべての日本人はこのことに気づいている」とあるので，この空所には日本人が自らのイメージ改善の努力を怠った結果生じる事態が入ることになる。これに該当しそうなのは **c** である。**c** を空所に入れてみると「日本は諸外国の信頼を得るために多大な努力が必要であるだろうが，そういう努力を怠れば日本の経済活動は『保護貿易主義者』の反発を生み，日本にとって死活の問題である『輸出〔貿易〕』が立ち行かなくなる」と自然につながる。よって正解は **c**。

【第４段落】

空所の前までの要旨は次のようになる。「日本がその身勝手な貿易〔経済〕活動によって諸外国から悪いイメージを持たれているとすれば，most admired nation であると同時に most hated nation であるアメリカも同様であり，その理由は trade ではなく politics（政治活動）である」とあり，さらに「アメリカが嫌われる理由は politics is not all で，日本を含めて各国はアメリカの文化が自国の伝統的なものの考え方や生活習慣に影響するのに嫌悪感を抱いている」とある。

空所の前では「アメリカが嫌われる理由」について日本を含む諸外国のアメリカに対する見方を挙げながら述べているが，空所の後では But … として，日本とアメリカとの結び付きを述べていることから，空所には「日本人のアメリカ観」でしかも空所後の But に続く「否定的な内容」がくるだろうと予測できる。これに当てはまるのは「アメリカの言い分の独善的な押しつけに，弱い同盟国（日本）は反感を示している」という内容の **h** である。これは「アメリカの文化が自国の伝統文化を破壊するのを耐え難く思っている」という内容に自然につながり，空所の後の「しかし日本はアメリカと友好関係を築こうとできるだけ努力してきた」という内容ともつながる。正解は **h**。

【第５段落】

この段落の要旨は「諸外国は，日本及びアメリカを，両国が繁栄し権力を持っているがゆえに妬みを伴った冷たい目で見ている」ということである。残る選択肢でこれに続く可能性があるのは，**b**，**f** であろう。第４段落と第５段落の内容はよく似ているが，第４段落においては，「アメリカ」の独善的なやり方に対する，「日本を含む」諸外国の反発というところに力点があったのに対し，第５段落では，「アメリカと日本の両国」に対する「諸外国の悪いイメージ」というところに力点があるという違いがある。**b** は，空所の前で述べられてい

る諸外国が日本及びアメリカに持つよくない感情の記述に続いて「アメリカはこのような分裂したイメージにある程度慣れているが，日本にとっては初めての経験だ」となり，うまくつながる。「分裂したイメージ」とは，第４段落冒頭にあったように most admired nation であると同時に most hated nation であるというイメージ，また空所前にある「力を持っていて金持ちであるが傲慢で自惚れが強い」というイメージのことを指す。**b** を正解としてよさそうだが，**f** についても確認しておく。**f** を入れた場合，「諸外国は日本及びアメリカを，両国が繁栄し権力を持つがゆえに（畏敬の念を持ちながらも）妬みを伴った冷たい目で見ている」ゆえに「日本とアメリカは，（その対外的な姿勢に関して十分反省し）諸外国から尊敬される国になるべきだ」というようにカッコで示した部分を行間に読み込めば可能であるとも考えられるが，ここはやはり空所の前の文章中で述べられている image problems に対応する their split image という表現を含む **b** が最適である。よって **b** が正解。

【第６段落】

空所の前の文章を要約すると，「日本，アメリカは共に諸外国に対して無関心であることが多く，特に第三世界の国々から敵意ある目で見られている。両国とも決して世界のすべての国々から愛されることはないだろう。」となる。残る選択肢の中から **f** を見てみよう。これは「『不死鳥』と『鷲』とが獲得すべく努力すべきものは，すべての人への公平さ，平和，自由という理念に基づいた（行為であり，それに対する諸外国からの）『尊敬の念』であろう。」という，諸外国に冷たい目で見られている日本とアメリカの今後のあり方を示した内容で，この本文最後の内容としてふさわしい。よって正解は **f**。

ちなみに，２つの不要な選択肢の意味は次の通りである。**a**「朗らかで世界の情報に通じた若者は，日本が複雑化する将来の世界において成功を収めるための最高の保証となるものである。」，**d**「教養のあるアメリカ人であればあるほど，諸外国に対して，アメリカの門戸を開いておくことに寛容であり理解を示す。」

全訳

1945 年，日本はほとんど望みを失った国，であったが，神話の不死鳥のごとくその灰じんの中から立ち上がり，今日，経済の面においてはアメリカの恐るべき競争相手となるまでに成り上がったのである。約１億２千万の不死鳥のごとき国民が，いまや世界の羨望の的である工業民主主義国を築いたのである。彼ら日本人のエネルギーと野望によって，日本は平和で豊かな国となった。しかし，そのために日本は高価な代償 —— 少年非行，離婚，自殺，あるいはまたアルコール中毒の増加 —— を支払わなければならなかった。しかしながら，これは予想外のことではなかった。**e**　私は個人的に，日本がその同盟国であるアメリカを超えるという仕事を押し進めて行く以前に，今挙げたような社会的荒廃の兆しに対して何らかの手を打とうとしているのを見ている。

しかしながら，日本が経済大国となっていく過程において，（世界に対し）その価値観，その意図するところ，またその目標を伝えるという点では弱みがあることを示してきた。日本に関して浮かび上がるイメージは，往々にして画一的なものである。そのイメージとは，日本株式会社，「エコノミック・アニマル」の国，つまり，仕事中毒者たちの国は，貿易と技術で世界を支配しようと躍起になっているというものである。このイメージは，主として日本人が自分自身，すなわち，内なる感情や価値観を，はっきり示すことに積極的でないこ

とからくるものである。日本人は生来，責任逃れに巧みで，恥ずかしがりやで，保守的である。有能で，国際的視野を持つ一部の日本人を除いて，日本人は，自分たちの過去のイメージ，すなわち「大東亜共栄圏」のイメージをいまだに断ち切れずにいるのである。**g**　日本人は，日本の国境線を越えた所で起こるいざこざに巻き込まれること，彼らの精神，勇気，また他国に対する関心を示すことを躊躇する。

非日本人 —— 西洋，東洋を問わず —— が，どんどん日本に対して疑惑の目を向けるようになってきている。彼らは日本からの増え続ける輸出，それには重大に汚染された産業の生産物も含まれているのであるが，そうしたものに疑惑の目を向けている。彼らは，日本が失業率と貿易赤字，国内及び対外紛争，飢饉と貧困などの問題に危機感を感じていないと思っている。私自身は日本人に対しそのような冷淡な目を向けているわけではないが，日本人は，自分たちが諸外国の人々に対して心配りをし，信頼できる国だということを示すべく，一層多くのことをしなければならないと真に思うのである。日本政府は日本の大企業が海外でどのように振る舞っているかということをさらに綿密に調査すべきである。そして，日本人自身も世界の比較的恵まれない国々に対して同情を示すべく，さらに多くのことをなすべきである。このイメージの問題は解決できるだろうが，そのためには，日本政府及び日本人が多大なる努力をしなければならないだろう。しかも，このような努力を怠るとどのような結果になるかということも，日本人はよく知っている。**c**　世界中の保護貿易主義者の反発は日本に大きな悪影響を与えるだろう。なぜなら日本にとって輸出は死活問題だからである。日本人なら誰でもこのことに気づいている。

しかし，日本人がイメージの問題を抱えているとすれば，アメリカ人もまた同様の問題をしっかりと抱えている。アメリカは，恐らく地球上で最も畏敬の念を持って見られている国であると同時に，最も嫌われている国でもあるが，その嫌われ方は日本とは別の事情による。アメリカのイメージの問題は，貿易ではなく，その政治活動からくる。世界中の多くの国々 —— 西洋の民主主義国も，第三世界の国々も —— が，アメリカが国内では自由や平和を唱えているにもかかわらず，国外では弾圧的で非民主主義的な政権を支持しているために，アメリカを非難している。ほとんどのイスラム教徒はアメリカによるイスラエル支援をイスラムへの恐怖によるものと見ている。多くのラテンアメリカ人はアメリカにエルサルバドルやニカラグアに干渉してもらいたくはないし，独裁者の支持をやめてほしいと思っている。インドは，アメリカがパキスタン側についていると思っているが，その一方で，ブラックアフリカの大部分はアメリカに，南アフリカのアパルトヘイトへの対抗措置をより強化してもらいたいと思っている。しかし，政治活動がすべてではない。日本を含め，いくつかの工業民主主義国でさえ，アメリカの文化が自分たちの国の伝統的なものの考え方や生活習慣に及ぼす影響に嫌悪感を抱いている。映画，テレビ，音楽はその中でも最も強力な侵略者であろう。それらははるばる鉄のカーテンの裏側まで届いている。フランスの元文化大臣であるジャック・ラングは，アメリカの娯楽を「意識を引きつける，財政面と知性面での帝国主義」だとみなした。**h**　多くの日本人は，当然あってしかるべき相談もなく，弱体な同盟国（日本）に自国の意向を押しつける傾向があるアメリカのやり方に反感を示している。しかし（当時の）中曽根総理大臣はロナルド・レーガンとの友好関係を通じて，可能な限り親密な日米関係を維持すべく，できる限りのことをやってきた。かくして不死鳥（日本）と鷲（アメリカ）

は，その違いにもかかわらず，お互いを信頼できる同盟国とみなしているようである。

さて，これまで述べてきたように，日本もアメリカも，繁栄し，また，力を持っているために，イメージの問題を経験している。力とはすなわち，日本においては経済力であり，アメリカにおいては政治力である。今日，世界中の多くの人々は，アメリカと日本を傲慢で，自惚れが強く，そして何よりも金持ちであるとみなしている。これは，成功に伴う代償というものである。**b**　アメリカ人は多かれ少なかれ，分裂した自国のイメージに慣れているが，日本人にとってはこれは新しい経験である。

アメリカ人と日本人は他国の文化に対して無関心なのだろうか。残念ながら，しばしばそうであると思う。この両国からやって来る旅行客は超然とした態度をとる。彼らはやたらと写真を撮り，土産物を買いたがるが，めったにその訪問先の国の人々と親密な繋がりを持とうとはしない。外国語（訪問先の国の言葉）を知らないというのもまた問題である。この前母がブラジルに旅行してきたのだが，「英語を話せる人が誰もいないなんて！」と文句を言っていたのを覚えている。「でもね，母さん，僕らはブラジルにいるんだよ。何を期待しているんだい。」と私は言っておいた。一方，外国人旅行客に対する敵意は，特に第三世界においては，しばしば妬みや貪欲さからくるものである。日本やアメリカはお金ばかりではなく，威信や政治的な力も持っている。両国とも世界中の国の人々から愛される，ということはないのだろう。**f**　不死鳥と鷲が獲得すべく努力すべきものは，すべての人への公平さと，平和と，自由という理念に基づいた行為であり，それに対する諸外国からの尊敬の念であろう。

注

ℓ. 2　◇ formidable「手強い」

ℓ. 3　◇ industrial democracy「工業民主主義国」

ℓ. 5　◇ juvenile delinquency「少年非行〔犯罪〕」

◇ alcoholism「アルコール中毒」

ℓ. 7　◇ superpower「超強大国」

ℓ. 9　◇ economic animals「エコノミック・アニマル」経済的利益を追い求める動物の意。昭和 40 年頃の国際社会における日本人の打算的・利己的な態度を皮肉った言葉。

◇ workaholic「仕事中毒の人」

○ -holic は「～中毒の人」の意味の名詞を作る接尾辞。

cf. spendholic（買い物中毒者）

ℓ. 12 ◇ evasive「責任逃れの；ごまかしの」

ℓ. 13 ◇ Greater East Asia Coprosperity Sphere「大東亜共栄圏」

ℓ. 17 ◇ deficit「赤字；欠損」

ℓ. 18 ◇ famine「飢饉」

◇ callous「冷淡な」

ℓ. 20 ◇ scrutinize ～「～を綿密に調べる」

ℓ. 28 ◇ accuse A of B「A を B の理由で非難する」

Ex. My brother *accused me of messing up his room.*

（兄は私が彼の部屋を散らかしたと言って非難した。）

◇ preach ～「～を説き勧める」

ℓ. 29 ◇ repressive「抑圧的な；弾圧的な」
◇ regime「政権；政府」
ℓ. 31 ◇ Uncle Sam：米国（政府）を擬人化した呼び名。US をもじったものである。
ℓ. 32 ◇ side with ～「～の側につく」
ℓ. 33 ◇ apartheid「アパルトヘイト」
ℓ. 36 ◇ the Iron Curtain「鉄のカーテン」共産圏，特に旧ソ連時代の秘密主義を言う。
ℓ. 44 ◇ smug「独りよがりの；自惚れの強い」
ℓ. 47 ◇ aloof「超然として」
ℓ. 52 ◇ prestige「名声；威信」
◇ clout「（政治的）勢力；影響力」

【3】

解答

「**全訳**」参照。

全訳

子供の頃に，他人に助けてもらうことの必要性を，人は個々に心底痛切に経験する。人間の子供は非常に重要な機能に関して，自分のことを自分で行うことが事実上できないので，他人とのコミュニケーションを保つことが，子供にとって死活問題となるのだ。1 人だけ取り残されてしまう可能性は，必然的に子供の生存そのものに対する最も深刻な脅威である。

注

ℓ. 1 ◇ drastically = in a drastic manner; to a drastic degree
< drastic = having a powerful effect; severe and thorough
◇ as a child「子供の頃」
◇ on account of ～ ≒ because of ～
ℓ. 2 ◇ the factual inability of the human child to take care of itself ～
< In fact the child is unable to take care of itself ～
○ factual = based on or containing facts
○ take care of oneself「自分のことは自分で（始末）する」
< take care of ～ = ① to look after someone or something ② to deal with all the work, arrangements etc. that are necessary for something to happen
◇ with regard to ～ = in regard to ～ = with respect to ～ = as regards ～ = as concerns ～ = about ～
◇ all-important = very important
○ all-：通例ハイフンでつなぎ，形容詞や副詞を作る。
①「～だけからなる」 *cf. all*-star（スター総出演の）
②「非常に；最も；この上なく」 *cf. all*-embracing（包括的な）
③「全…の」 *cf. all*-purpose（多目的の；万能の）
ℓ. 3 ◇ function = an activity that is natural to or the purpose of person or thing
◇ a matter of life and death「死活問題；重大問題」

（= something on which it depends whether one will live or die）

ℓ. 4 ◇ possibility = the chance of likelihood that something will happen

◇ leave ～ alone = abandon or desert ～; stop interfering with ～

◇ necessarily = as a necessary result; unavoidably

◇ threat = the possibility of trouble or danger

【4】

解答

（1） attitude （2） **c** （3） place （4） 文体が冷ややかなこと。

（5） 私の死期 （6） **d** （7） **b** （8） to （9） **c**

（10） 「**全訳**」の下線部⑩参照。

解説

東大入試の総合問題では，小説やエッセイが題材になることが多い。描かれている状況，背景を的確につかんでほしい。設問は，語法やイディオムの知識を問うものもあるが，文脈を理解していないと，易しい語でもひっかかることがあるので注意が必要である。

（1） すぐ前に「取るにはとても愚かな態度」とあり「私にはそれはまったく私心のないものとも思われない」とあるので，one は「態度」を意味する attitude を表すことがわかる。なお，I find it … の it は前の主語 This と同じ内容，つまり「お前が私の言うことに耳を貸すことを拒み続けたこと」を受けている。

（2） when … の節が含まれる that 節の主節を見ると，your sense of antipathy *will* vanish, and enthusiasm *will* … のように未来時制が使われている。when 節の内容は「お前が私の話を読み終えてしまった時には」のように未来完了の意味を持つものと考えられるが，この節は副詞節であるので，未来時制は使われず，現在時制が代用される。これは完了形の場合にも適用されるので，will have read という未来完了に代わって have read という現在完了が使われる。よって正解は **c**。

（3） 「sense of antipathy が消えて，代わりに enthusiasm が…」という文脈。「～に取って代わる」は take *one*'s *place*; take the *place* of ～ などと表す。正解は place。

（4） 「お前が（私の手紙を）読み進めるうちに，もしよかったら，私の文体が冷ややかであることを許してくれ。しかしこれだけが，私が知っている自分の言わんとすることを明確に伝える方法なのだ」という内容から，this は the coolness of my style（私の文体が冷ややかであること）を受けることがわかる。

（5） *one*'s time は「一生；生涯；兵役期間；死期；妊娠期間」など，いろいろな意味を持つが，文脈からどの意味かを判断する。ここでは，前に when I am no longer with you があったり，my time の後に続く内容から，「死期」の意味であると判断できる。

（6） 「日ごと，とりわけ夕方になると，途方もなく，悲しさが募ってくる」という内容の節が前にある。そして主節は「私の感情がこの手紙の中にあふれ出るだろう」という意味を表す。したがって，その前の副詞節は「自分でよく気をつけていないと」という意味を持つ接続詞によって導かれなくてはならない。よって「もし…でなければ；…でない限り」の意味の **d** unless が正解。

（7） promise *oneself* that … は「…を決意する〔誓う〕」という意味を表す。これと同意なのは make up *one*'s mind を含む **b** である。**a**「確信している」，**c**「満足している」，**d**「熟慮の結果…という結論に達する〔…と信ずるに至る〕」，はいずれも意味がずれる。

（8） 「～に知られている」は be known *to* ～ とするのが普通である。なお，次のことわざにある is known *by* ～ の by は，'判断の基準' を示しており，受動態の動作主を表すのではない。

cf. A man *is known by* the company he keeps.（付き合う友人を見ればその人がわかる。）

（9） how foolish I was not to have gone earlier to my doctor は「もっと早く医者のところに行かなかったなんて，私はなんと愚かだったことか」という意味である。not に惑わされず，この不定詞が副詞用法の「…するとは」という '判断の根拠' を表す用法であることを見抜くこと。**a** は「彼は日本を離れる決心をした。」の意味で，to leave は decided の目的語であり，名詞用法。**b** は「私は彼女に会うためにここに来た。」の意味で，不定詞は '目的' を表す副詞用法である。**c**「そんなことを言うなんて，彼は気が変になっているに違いない。」これが下線部と同じ用法で正解。**d**「彼が到着した最初の人だった。」の意味で to arrive は形容詞用法である。

（10） ○ with me は「私の場合は」ということ。

○全体は not only ～ but（also）… の構文になっている。not only did I leave ～ は I not only left it ～ の倒置であり，not only が前に出たのに伴い，助動詞 did が使われて倒置になっている。

○ too late はここでは「手遅れになるまで」と訳すのがよい。

○ the thing ＝ cancer

○ have the effrontery to … は「ずうずうしくも…する」の意味のイディオム。

○ attack me in the pancreas は「膵臓において私を冒した」とせず，「私の膵臓を冒した」と訳す。「彼は私の顔をじっと見た。」を He stared me <u>in</u> the face. のように言うのと同様の形である。

○分詞構文の making both … の部分は「その結果，手術も，生きながらえることも，同じように不可能となった」と訳してもよいだろう。

全訳

私がこんなに手紙を書いたのを見て驚かないでくれ。これはランディがこれから私にしようとしていることや，なぜ彼がそうすることに私が同意したか，彼の理論と希望がどのようなものかを詳しく説明しようという，私の試みにすぎない。お前は私の妻だから，こうしたことを知る権利がある。実際のところ，お前にはそれを知っておく義務がある。この数日間，私はランディのことについてお前と話そうと懸命に努力したが，お前は私の話に耳を貸すことを断固として拒み続けた。前にも言った通り，これはとても愚かな態度であり，私にはまったく私心のない態度とも思えない。それは主としてお前が事情を知らないことから生じており，お前が事実をすべて知りさえすれば，すぐにも考え方を変えるものと私は強く確信している。だから私は，自分がお前のそばからいなくなり，お前の心が多少落ち着きを取り戻した時には，お前はこの手紙を通して私の話をもっと注意深く聞くことに同意してくれるものと願っている。誓って言うが，お前が私の話を読み終えた時には，お前の反感は消え，

熱意がそれに取って代わっていることだろう。そして私がやったことをお前が少しばかり誇りに思ってくれることすら，私は望んでいるのだ。

読み進めるうちに，もしよかったら，私の文体が冷ややかであることを許してくれ。でも，私は自分が言わんとすることを明確に伝える方法をこれしか知らないのだ。ほら，死期が近づくにつれ，私がこの世のあらゆる種類の感傷に満たされ始めても当然だろう。日ごと，それもとりわけ夕暮れ時になると，途方もなく悲しさが募ってくる。だから自分でよく気をつけていないと，感情がこの手紙の中にあふれ出てしまうことになるのだ。

例えば，私は，何かお前について —— お前が長年，私にとって満足のいく妻であったことを言いたいと思っており，それだけの時間と体力がまだ残っているようなら，次にそうすることを決意しているところだ。

中年にして早くも私を襲った病気の詳細はお前もすでに承知しているとおりだ。それについて書いて時間を無駄にする必要はない —— ただ，もっと早く医者のところに行かなかった自分の愚かさをただちに認めること以外は。ガンは現代の薬が治すことのできない，残されたわずかな病気の１つだ。あまり広がっていなければ，外科医は手術できるが，⑩私の場合，ガンを手遅れになるまで放置したばかりか，ガンはずうずうしくも私の膵臓を冒し，外科手術も，生きながらえることも，同じように不可能にしてしまった。

そういうわけで，私はおよそあと１カ月から半年の命となり，刻一刻と憂鬱になっていったが，そんなところへ突然，ランディが現れたのだ。

注

ℓ.1 ◇alarm ～「～を（恐怖・心配などで）はっとさせる；驚かせる」
ℓ.5 ◇steadfastly「断固として」
ℓ.10 ◇be distracted「当惑する；心を悩ませる」
ℓ.16 ◇brim with ～「～にあふれる」
◇every ～ under the sun「ありとあらゆる～」
ℓ.17 ◇wistful「もの思いに沈んだ」
ℓ.18 ◇overflow「あふれる」

【5】

解答

（1） Coral reefs are（*larger*）than any other animal-made structures on earth, but they are also very（*fragile〔delicate; sensitive; vulnerable〕*）.

（2） Coral reefs react very quickly to changes in the（*environment*）, whether natural or caused by（*human*）disturbances.

（3） Algae provides the coral with（**c** *food and calcium*）, while the algae living inside the coral polyp in return gets（**d** *a stable place to live*）.

（4） **d**

（5） The（*diversity〔variety〕*）of life forms supported by coral reefs is greater than anywhere else except the tropical rain forests.

（6） Research findings about the（*life*）cycles of corals may help scientists to（*repair*）

and restore reefs that have been damaged or killed.

Script

CD 11 ～ 13

Coral reefs are among the most fascinating and complex environments on earth. They are the largest animal-made structures. The Great Barrier Reef of Australia is 1,200 miles long, and a coral atoll in the South Pacific rises up 4,000 feet from the bottom of the sea floor. However, they are also among the most fragile environments. The huge size of the reefs and the abundance of life that is attracted to them disguise their delicacy. The living part of a coral reef is only a thin layer a few millimeters thick covering a mountainous skeleton of calcium left by past generations over centuries.

Corals are extremely sensitive to environmental changes. They react quickly to changes in temperature, pollution, and the amount of light that passes through the water. When the unusually warm currents of water known as El Niño come in from the western Pacific every few years, the corals in the Galápagos Islands are the first creatures to react to it. Corals are also quickly affected by human disturbances. Pollution from factory waste, sewage, and fertilizers has already greatly damaged the reef system near southern Florida in the United States. Fishing also poses a threat. If too many algae-eating fish are caught, the water will become clouded with algae and the coral may die from lack of sunlight.

The coral species developed long before flowering plants began to cover the land 130 million years ago. During the long process of their evolution, corals developed a symbiotic relationship with a type of algae that makes them in a sense half plant and half animal. At some point in the past a tiny algae plant began to live on the inside of the coral polyp animal. Like most plants, the algae photosynthesizes, that is, it converts the energy from sunlight into complex sugars that support life. The algae also helps to convert the calcium in the water that the corals use to build their skeletons. Symbiosis means living together for a mutual advantage. In exchange for providing food and minerals, the algae inside the coral polyp gets a stable environment in which to live.

25 Through this partnership, the tiny plants and animals create reefs in the shallow waters that otherwise could support little life. When the reef systems mature, they support a diversity of life forms that is only matched by the tropical rain forests. Although they cover only 1 percent of the earth's surface, they are home to one quarter of its marine species. The coral reef is a virtual metropolis of the sea.

30 However, coral reefs are in great danger from the influence of human beings. In addition to the effects of pollution and over-fishing, there is also damage done by the increasing number of divers who come to enjoy the spectacle of reef life. Merely touching the living coral can cause a disease that can spread throughout a coral colony and destroy it within a few months.

35 Nevertheless, scientists studying the alarming ways that corals can suddenly die out have also discovered some of the secrets of how they live. They hope to use their newly discovered knowledge to repair and restore dead or damaged reefs.〔528 words〕

全訳

サンゴ礁は，地球上で最も興味深く複雑な自然環境の１つである。それは動物が作った最も大きな建造物である。オーストラリアのグレート・バリア・リーフは長さが1,200マイルで，南太平洋のサンゴ環礁は海底から4,000フィートの高さがある。しかし，それは最も壊れやすい自然環境の１つでもある。礁の大きさとそれに引かれて集まった生命の豊富さで，そのもろさは隠されている。サンゴ礁の生きている部分は，厚さわずか数ミリの薄い層で，何世紀にも渡って過去の世代が残した山のようなカルシウムの骨組みを覆っている。

サンゴは環境の変化に非常に影響されやすい。それらは，気温，汚染，水中に差し込む光の量の変化に即座に反応する。エル・ニーニョとして知られる異常に暖かい海流が数年おきに西太平洋からやって来る時，ガラパゴス諸島のサンゴがまず最初にそれに反応する生物である。サンゴはまた，人間の妨害にも即座に影響される。工場からの廃棄物による汚染，汚水，化学肥料は，アメリカのフロリダ南部付近の礁の組織をすでに大きく破壊してしまっている。漁業もサンゴを脅かしている。藻を食べる魚を獲りすぎると，海水が藻で濁り，サンゴが太陽光線の不足で死ぬこともある。

サンゴという種は，１億３千万年前に顕花植物が地上を覆い始めるずっと前に進化していた。進化の長い過程の中で，サンゴは，サンゴをある意味で半分は植物，半分は動物という状態にさせる，ある種の藻との共生関係を発達させた。過去のある時点で，小さな植物の藻がサンゴのポリプ内に住み始めた。ほとんどの植物と同様に，藻は光合成をする。つまり，太陽光線からのエネルギーを，生命を支える複合糖類に変える。藻はまた，サンゴが骨格を作るのに使う水中のカルシウムを変えるのを助ける。共生とは，互いの利益のために一緒に

住むことをいう。食物とミネラルを供給する代わりに，サンゴのポリプ内の藻は生きていくための安定した環境を得るのである。

このような相互関係を通じて，小さな植物と動物は浅い水中に礁を造るのだが，そうでなければそこではほとんどの生物が生存することができないのである。礁の組織が成熟してくると，熱帯雨林しか匹敵しないほど多様な生命体を支えるようになる。それらは地表のわずか１パーセントしか覆っていないが，それは地球の海洋生物の４分の１の生息地なのである。サンゴ礁は事実上，海の中心地である。

しかし，サンゴ礁は人間の影響により，非常に危険な状態に置かれている。汚染や魚の乱獲による影響に加え，礁の生命体の素晴らしい眺めを楽しむためにやってくるダイバーたちがどんどん増えていることによる破壊もある。単に生きているサンゴに触れただけでも，サンゴの群棲地全体に広がって数カ月で破壊し得る病気を引き起こす可能性がある。

それでも，サンゴが突然死に絶える驚くべき過程を研究している科学者たちは，サンゴが生き残る秘訣もいくつか発見している。新しく発見されたその知識を用いて，死んだり壊れたりした礁を回復させ，復元させることを彼らは願っている。

注

ℓ. 4 ◇ fragile「壊れやすい」
ℓ. 5 ◇ abundance「豊富さ」< abundant
◇ disguise ～「～を隠す」
◇ delicacy「繊細さ；壊れやすさ」< delicate
ℓ. 6 ◇ a thin layer a few millimeters thick「数ミリの厚さの薄い層」
ℓ. 8 ◇ be sensitive to ～「～の影響を受けやすい」
ℓ. 11 ◇ every few years「数年に１度」
ℓ. 12 ◇ human disturbances「人間の妨害」つまり，人間が自然に対して行う行為のこと
ℓ. 13 ◇ sewage「下水；汚物」
◇ fertilizer「（化学）肥料」
ℓ. 14 ◇ pose a threat「脅威となる」
ℓ. 15 ◇ algae「藻類」
ℓ. 17 ◇ symbiotic「共生の」 *cf. symbiosis*
ℓ. 19 ◇ polyp「ポリプ」（サンゴなどの刺胞動物に見られる形態）
ℓ. 20 ◇ photosynthesize「光合成をする」
◇ convert ～ into …「～を…に変える」
ℓ. 23 ◇ for a mutual advantage「お互いの利益のために」
◇ in exchange for ～「～の代わりに」
ℓ. 24 ◇ stable「安定した」
ℓ. 26 ◇～ that otherwise could support little life「そうでなければほとんど生命を支えることができない～」
◇ mature「成熟する」
◇ a diversity of ～「多様な～」
ℓ. 27 ◇ tropical rain forest「熱帯雨林」

ℓ. 29 ◇ metropolis「中心地」
ℓ. 30 ◇ be in great danger「非常に危険な状態にある」
ℓ. 32 ◇ spectacle「素晴らしい眺め」
◇ merely …ing can cause ～「ただ…するだけで～を引き起こし得る」
ℓ. 35 ◇ alarming「驚くべき」
◇ die out「死に絶える」
ℓ. 37 ◇ restore ～「～を（元の状態に）戻す」